

コープながの 第33回通常総代会 開催報告

6月12日(木)、ホテル ブエナビスタ(松本市)において、
コープながの第33回通常総代会を開催しました。



通常総代会は組合員の代表である総代が参加し、コープながのの年度方針や予算などの重要事項を決める最高議決機関です。今年度は、総代実数397人(総代定数400人)中336人(実出席と書面出席の合計)が出席しました。



コープながのでは、今回の通常総代会に向け、昨年11月・今年5月に県内各地で開催した「ブロック別総代会議」や、2月に実施した書面での意見集約を通して、総代の皆さまからさまざまなご意見をお寄せいただきました。それらをもとに検討をすすめ、通常総代会にて2つの議案を提案しました。主な内容は次の通りです。

第1号議案

『2024年度のまとめ、決算書及び剰余金処分案承認の件』

第1号議案では2024年度の事業や取り組みについて報告しました。組合員数は4,747人増加し342,769人となりました。総事業高は463億4,560万円、経常剰余金は19億3,097万円です。ともに前年実績を下回りましたが、2024年度より供給事業から取次事業に変更した電気事業を除く事業では増収となっています。

物価上昇が続く中、ふだんのくらしに必要な商品をよりお買い得にご利用いただけるよう、宅配・店舗で「くらし応援キャンペーン」を実施し、組合

員のくらしを守る取り組みを進めました。宅配事業では、eフレンズ登録のおすすめに取り組み、インターネット注文の利用人数や受注率が伸長したほか、「無印良品」の商品の取り扱いを始め、組合員の皆さまに好評でした。店舗事業では、移動手段がなく、お買い物に不自由を感じている方向けの送迎サービス「お買い物サポートカー」をコープ長野稲里店で本格展開し、利用者を増やしています。

第2号議案

『2025年度の活動方針及び予算設定の件』

第2号議案では、2025年度の事業計画と予算について提案しました。2025年度の重点課題は次の3点です。
① ビジョン2035実現のために、持続可能な事業構造を確立します。

② 商品やさまざまな取り組みを通して、人や地域、みんなの笑顔を増やします。

③ 学びあい、考え続けることで、人と組織の成長を目指します。
2025年度の事業予算は、総事業高459億4,676万円、経常剰余金14億8,976万

第33回通常総代会 議案採決結果

※議長2人、欠席61人を除く総代334人(書面を含む)による採決

		反対	保留	賛成	結果
第1号議案	2024年度のまとめ、決算書及び剰余金処分案承認の件	0	1	多数	可決
第2号議案	2025年度の活動方針及び予算設定の件	1	4	多数	可決

以上のように、全議案を承認可決しました。

円です。宅配事業では、はじめて夏季一斉休業を取り入れられます。8月11日～15日の配達をお休みし、夏場の労働条件改善に取り組みます。

2024年度 出資配当金のお知らせ

2024年度の出資配当率が次の通り決まりました。

◇出資配当率 年0.4%

出資配当金は、出資金へ振替えます。出資配当金のお知らせは、宅配をご利用の方は「お届け明細書兼請求書」、店舗をご利用の方、宅配をお休みされている方には郵便はがきでお知らせいたしますので、ご確認ください。

わたしの思い・願い伝えたい（発言通告）

総代会の開催にあたり、総代・組合員の皆さまから、コープへの思いやご意見として、17通のメッセージをお寄せいただきました。会場にて、発言通告のあった4人の総代より、発言していただきました。内容を一部ご紹介します。

お店の縁側スタッフとしての思い

コープながのでは、誰もが気軽に立ち寄れる交流の場として、お店のイトインコーナーで「お店の縁側」を開催しています。運営サポーターの私たちは、お花を飾り、コーヒーを用意して、皆さんをお迎えします。開催日には、たくさんの常連さんや買い物客が立ち寄り、日々の出来事やさまざまな話題で盛り上がっています。皆さんのお話をまとめたものは、お店や理事会で共有され、店舗運営にも活かされています。「お店の縁側」は、お客様の声や身近な話題が拾い上げられる素敵な場所、人と人とのつながりの場所で、地域とともに進むコープながののぴったりの取り組みだと思います。ぜひ「お店の縁側」に立ち寄ってみてください。

いつもの感謝を伝えたくて

コープの組合員となってどのくらいたったでしょうか。幼稚園や小学校に通う子どもたちのおやつ、中学生となった息子が毎日一本飲み干していた牛乳、すぐに用意できたのはコープのおかげです。幼かった子どもたちは成長し、遠くに巣立ちましたが、今では孫が遊びに来て、食べたいものを聞くと、やはりコープの商品を指名しています。現在も、買い物に行けないわけではありませんが、定番商品は宅配で届けてもらっています。食品値上げが続く、米が倍額になり、生活に必要なものにも慎重にならざるを得ません。そんな状況下でも、コープデリ宅配を利用し、安心して注文品が届けてもらえることが「当たり前」とならないよう、常に「ありがとう！」と感謝の思いを寄せています。お天気の良い日ばかりでない中でも約束通りに届けてくださる配達員さんには頭が下がります。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

2024年度は物価高騰が続く厳しい状況の中、少しでも組合員の皆さまのお役に立ちた



飯島専務理事より



という思いから、「くらし応援キャンペーン」をはじめとするさまざまな取り組みを行いました。また、8月から10月にはお米の在庫が逼迫し、抽選でのお届けとなり、大変ご迷惑をおかけしました。現在もお米の供給は厳しい状況ですが、工夫を凝らし、できる限り多くの組合員にお米をお届けできるよう取り組んでまいります。

2024年度の決算では、事業全体では減収減益の結果でしたが、電気を除く事業としては増収となりました。皆さまのご利用に感謝申し上げます。

最後に、コープながのは組合員数34万人を超える県下最大の消費者組織として発展してきました。この大きな自負を胸に、組合員のくらしに貢献する

ことを第一に、ビジョン2035の達成に向け、SDGsを常に意識しながら事業を進めていきます。「組合員・働く仲間・コープながの」の3者の笑顔を目指し、全ての関係者の皆さまと力を合わせて取り組んでまいりますので、引き続きよろしくお願い申し上げます。



総代会閉会后、アフリカの子どもたちの栄養改善をサポートするコープデリグループの取り組み「ハッピーミルクプロジェクト」の募金贈呈式を行いました。2024年度に購入いただいたコープマークの牛乳の売り上げの一部と、組合員からお預かりした募金合わせて2,201万5,567円（コープデリグループ全体の金額）を（公財）日本ユニセフ協会へお渡ししました。